

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第12回)選定団体及び個人取組概要(東北農政局管内抜粋)

ビジネス・イノベーション部門				
No.	都道府県	市町村	地区名	取組の概要
1	宮城県	名取市	宮城県農業高等学校 農業科 作物部門	 <p>新肥料を肥料会社と共同開発。特許申請中</p> <p>肥料メーカーと連携し環境負荷の少ない新しい側条施肥型肥料を共同開発。この肥料と深層施肥技術と組み合わせることで、肥料費を78.2%、労務費を62.1%削減し、収量や品質も維持できる。食味値は専門機器で高い数値を記録し、「お米甲子園」全国優秀賞を受賞。日本学校農業クラブ全国大会での最優秀賞受賞や、テレビ・新聞での情報発信により、地元農家・大学・肥料メーカーと全国普及を目指しての連携が拡大している。</p>
2	岩手県	滝沢市	株式会社スタディア 特別賞受賞	 <p>障がい者による馬耕の様子</p>  <p>障がい者とのチャグチャグ馬コへの参加</p> <p>農業をはじめとした多彩な作業・プログラムで障がい者の就労等を支援。特に、チャグチャグ馬コに使用される馬の飼育から始まった水田の馬耕やその堆肥を活用し生産したブランド米の販売は、多数のメディアに取り上げられ、地域文化の継承と滝沢市のPRに貢献している。その他、農家に対する作業支援や地域の小・中学校および行政と連携した農業体験等特色ある取組みを実施。</p>
3	山形県	山形市	紅花推進協議会	  <p>紅花の黄色素で多数のフードメニューや商品を開発</p> <p>山形県の紅花文化の継承を目的に染色用赤色素抽出時に廃棄されてきた黄色素を活用し、飲食店や加工業者と連携して商品化を推進。地域一体での販路開拓と情報発信で、紅花の大規模生産と新たな需要創出に取り組んでいる。R8年度以降は海外マーケットも視野に入れ、イベント出展やメディア取材対応を中心に行い、商品や取組の認知向上を図っている。</p>
コミュニティ・地産地消部門				
No.	都道府県	市町村	地区名	取組の概要
4	宮城県	富谷市	特定非営利活動法人 SCR	 <p>不登校特例校との養蜂活動の様子</p> <p>日本ミツバチの養蜂活動を通し、市内森林公園での伐採見学、枝切り体験等やツリーハウスづくり等のイベント開催や不登校特例校と連携した耕作放棄地を活用しての蜜源づくり等地域の自然と環境を守る活動に取り組んでいる。また、毎年市内小学校で実施しているミツバチの出前授業は、食育や命の尊さを学ぶ機会となっている。</p>

5	山形県	鶴岡市 三川町 酒田市	庄内赤川土地改良区 特別賞受賞	 	<p>一級河川赤川等から取水した農業用水を、庄内平野の美田約1万haに供給。赤川の水源である上流山間部の山林は、明治時代乱伐により荒廃の危機に直面したが、先人達が現価値にして数億円を投じ1,300haもの山林を取得。今も水源涵養林として守り続けている。これらを契機として、水資源の大切さやその役割を次世代へ繋ぐため様々な活動を実施している。</p>
---	-----	-------------------	---------------------------	--	--

個人部門

No.	都道府県	市町村	地区名	取組の概要
6	青森県	平川市	水口 清人	 <p>商品化された「アップルブランデー」</p> <p>青森県を代表する果実であるりんごを活用し「シードル」や「アップルブランデー」を製造し販売。特に瓶の中にりんごが丸々一個入った「アップルブランデー」の商品化は日本初で売上も急成長。原料となるりんごを安定した価格で仕入れることで取引先農家の所得向上も図られている。</p>